

職業選択 インターンシップ

第2学年 総合的な探究の時間

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す

<活動のねらい>

- (1) 人間としての在り方・生き方について生徒が自ら考え、自覚を深めるとともに自己実現を図る資質や能力を育てる。
- (2) 職場における実際的な知識や技術・技能に触れることにより、学習意欲を喚起し、主体的な職業選択能力や高い職業意識を育成する。
- (3) 勤労の尊さや喜び、楽しさや厳しさを学び、社会における自己の役割や責任・自覚を促す。
- (4) 外部の大人との関わりをもちコミュニケーション能力を高める。

志教育の視点

勤労の貴さや喜び、楽しさや厳しさを学び、社会における自己の役割や責任・自覚を促す。

<活動の流れ>

1 事前指導を行う。

自己分析を行い、職業適性や将来の目標を考える。
講話を聞き、仕事とは何か、人は何故働くのか、応対マナー等について学ぶ。

2 実習する。

各事業所にて実習する（3日程度）。
実習を通じて、勤労観や職業観を育成し、将来の職業選択の一助とする。

3 活動記録をまとめる。

お礼状の作成・プレゼンテーションソフトを用いたまとめ作業を行い、
1年生に向けて発表を行う。（例年3月）
1年間の総合学習を通じて、自己を評価し、今後どのような進路へ進んで行くかを考える。



自分・未来をみつめ志に高める手だて

事前指導では、外部講師の活用により、社会人としての常識を身につけさせる。また、自己分析やビジネスマナーの実践ワークを通して、人とのよりよい関わり方について考えさせる。
事後指導では、1月の報告会に向けて、職業適性や将来設計について考えさせる機会を設定している。

起業家教育
デュアルシステム

第3学年
商業科目

<活動のねらい>

販売実習・起業家研究・企業実習の3本柱から構成されており、生徒の職業観や勤労観、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成を図り、地域の産業界と連携をすることで将来地域の担い手となる有能な人材の育成をする。

また、地域との連携を深めコミュニケーションを図ることで地域の活性化の一助とする。

志教育の視点

地域社会に貢献できる人材になるために、地域の産業界と連携しながら諸課題の解決に主体的に取り組み、改善しようとする姿勢を身につける。

<活動内容>

1 企業実習について

各事業所にて年間約20時間の実習を行った。

実習を行い、勤労観を育むとともに地域とのつながりを持った。また、自身の適性を判断する機会となった生徒もあり、職業観を新たにすることができた。

2 総合実践について。

販売実習では、一迫町内施設「あやめの里」の店頭を借り受け、地元企業の指導の下で、店舗設計や市場調査を行い、地域の方がどのようなニーズを持っているか調査し、各班ごとに仮説を立て、仕入計画・販売計画を立てた。また、他県の事業所と連携を図り、売れ筋商品を仕入れた。さらに、地域のにぎわい施設における出店やイベント出店において、販売のむずかしさと楽しさ、地域の方々の叱咤激励を受け、地域に対する思いを強くした。

起業家研究では、「問題解決手法とその表現方法」を学習し、もちっ小屋でん・六日町商店街へ出向き、課題を探するためフィールドワークやヒアリング調査を実施した。取り組みの中で、自主的に考え行動する楽しさを知り、地域の方々と多くの触れ合いを持つことにより、地域のことを深く考える（自分事としてとらえられる）ようになった。

3 活動記録をまとめる。

1年間の学習活動をまとめ、1月の報告会に向けてプレゼンテーションを作成した。報告会後は、自己を評価し、今後の進路へどう生かしていくかを考えた。



自分・未来をみつめ志に高める手だて

学校と地域が一体となり、地域に根付いたイベントへ積極的に参加し、地域の魅力を発信・再発見しようと促している。さらに、若者らしい新しい発想から企画を立案・実施するために諸課題を提示していただいている。教科書よりも生きた教材を活用することで、将来の担い手となる地域の有為な人材の育成を図っている。

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す

魅
力
の
再
発